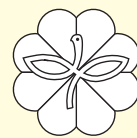


# 民児協おかやま

岡山市



第48号

令和3年4月1日



岡山県総合グラウンドの人見絹枝像

## 濟世

人見絹枝は、1907年（明治40）1月1日、岡山県御津郡福浜村福成（現在の岡山市南区福成）で生まれた。

1928年（昭和3）アムステルダムオリンピックに日本人女性として初出場し、800m走で銀メダルに輝いた。この他にも、走り幅跳びや円盤投げ、100ヤード走など、数々の素晴らしい記録を打ち立てている。

当時は、国内の女子陸上選手への偏見が強く、オリンピックに出場する際にも周囲の人々からは冷たい目で見られていた。しかし、これらの重圧に打ち勝っての見事なメダル獲得であった。

彼女は24歳という余りにも短い生涯であったが、その後の「女性に対する不当な差別や偏見の解消」に大きな影響を与えた。

その功績をたたえた銅像が、岡山県総合グラウンドや出身校の岡山県立岡山操山高等学校などに建てられている。

岡山市民生委員児童委員協議会 事務局



この広報誌は、共同募金配分金の一部をつかって作成しています。



岡山城にある笠井知事像

## 「花を養う天のごとく」

「濟世之心須如養花天」

(濟世の心すべからく花を養う天のごとし)

「天は、どんな花にも分け隔てなく、太陽の光や雨の恵みを与える。濟世顧問も天のように困っている人に寄り添ってほしい。」

貧困問題を解決するため濟世顧問制度を創設した元岡山県知事、笠井信一（1864年～1929年）の言葉である。

岡山城の北に立つ銅像は、民生委員・児童委員として日々活動する私たちにエールを送り続けている。

## ○民生委員制度関係年表

民生委員・児童委員に関する動き（岡山市関連含む）	
1916年（大正5）	岡山県笠井知事、宮中において岡山県の貧民状態について御下問を拝す。後の濟世顧問制度確立の発端となる
1917年（大正6）	岡山県3名（藤井静一を含む）が濟世顧問に委嘱される 岡山県訓令第10号を以て濟世顧問設置規程を公布
1918年（大正7）	大阪府告示第255号を以て大阪府方面委員規程を公布
1926年（大正15）	御津郡馬屋上村安部倉濟世会館成る
1946年（昭和21）	民生委員令公布（方面委員を民生委員と改称）
1947年（昭和22）	児童福祉法公布（民生委員は児童委員を兼ねる）
1958年（昭和33）	笠井信一氏銅像建設
1974年（昭和49）	岡山県民生委員児童委員協議会発足
1977年（昭和52）	民生委員・児童委員の日が5月12日とされる
1994年（平成6）	主任児童委員制度の創設
2004年（平成16）	全国民生委員児童委員大会を岡山市にて開催
2017年（平成29）	民生委員制度創設100周年

### 民生委員制度の始まりと笠井信一知事

笠井信一は、静岡県に生まれ岩手県知事を経て、大正3年から大正8年まで岡山県知事を務めました。大正5年5月18日に開かれた地方長官会議で、県下の教育や貧困者の状況について天皇陛下から尋ねられたことをきっかけに、県下の貧困者の実態調査を行いました。さらに、諸外国の防貧対策および、その制度や理念を研究し、「濟世顧問制度」としてまとめました。その後、議会での審議や県下の郡市長並びに警察署長会議での説明等を経て、大正6年5月12日に「濟世顧問設置規程」（岡山県訓令第10号）が公布されました。そして、昭和21年に民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」となり、平成29年には民生委員制度創設100周年を迎えました。100年以上の長きにわたり、日本の地域福祉を支え続けてきた歴史と伝統のある制度はこの岡山の地で始まったのです。

【参考文献：民生委員制度の礎を築いた岡山の先人達】

# 就任のごあいさつ



岡山市民生委員協議会  
児童委員会 会長  
岸本 俊男  
(北区中央/弘西)

令和元年の一斉改選を経て、会長として再任を受けました岸本俊男でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今回の一斉改選を経て、岡山市の民生委員・児童委員の定数は一二四二人となり、各地区民生委員児童委員協議会の取り組みに加え、六つの福祉区民生委員児童委員協議会での取り組みも充実してきているところであります。

地域住民の方々からは、福祉関係の相談に関しては行政機関等をはじめとし、「あまり関わりがないので相談するのに遠慮してしまう」「どのように相談したらいいかわからない」などの声が聞かれます。そのようなき、民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、相談

内容に応じて、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。さらに、担当区域において高齢者や障がいのある方の見守りや子どもたちへの声かけなど様々な活動を行っています。

また、民生委員制度は平成二十九年に創設百周年を迎えました。この民生委員制度は岡山県で発足した「済世顧問制度」をもととしており、岡山県が発祥の地でもあります。

常に地域住民の立場に立って、様々な方々と連携・協力しながら、誰もが安心して生活できる地域社会づくりのために活動を続けて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。



## 副会長



高山 学  
(中区/竜之口)



田淵 正志  
(北区北/伊島)



上平 智一  
(北区中央/鹿田)



森上 綾子  
(南区南/浦安)



吉岡誠一郎  
(南区西/興除)



伊加 博  
(東区/朝日)

役職	福祉区・部	地区役職	氏名
常任理事	北区中央	内山下	辻 正子
		深 底	竹内 基雄
		三 門	本原 静夫
		西	岸本 文美
	北区北	伊 島	服部 睦雄
	中区	旭 竜	八代 武利
		操 明	堀本 光久
		財 田	原 三郎
	東区	可 知	宗政富美男
		芥子山	丸尾 嘉博
	南区西	福 田	吉田 茂
	南区南	福 島	小西 理律
		芳 明	鴨井 英明
	地域福祉推進部	部 長	本澤美夜子
主任児童委員部	部 長	守安真理子	
会計	北区北	津 高	福田 真紀
監事	北区北	一 宮	小林 好美
	東区	上 道	井上 英二
	南区南	甲 浦	荒城 賢真

## 新しい任期が始まるにあたって



三年に一度の一斉改選にあたって、民生委員・児童委員の委嘱を受けた方々に抱負を寄せていただきました。



南方地区民児協  
眞野 英樹

令和元年十二月に民生委員・児童委員の改選があり、初めて民生委員・児童委員に就任した方が多数いらっしゃいます。民生委員・児童委員とはどんな仕事をするのかは従来ですと新任研修があり、概要の説明が市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会等からなされ、また、地区前任者からの引継ぎが行われますが、今回はコロナ禍の影響で研修が中止になるなど十分な説明が行われませんでした。

新任の方々には不安感をもって活動をされています。民生委員・児童委員の主な活動は担当地区内の支援必要者を発見したり、その方々の相談にのり、直に公的機関につ

なぐ事です。民生委員・児童委員個人で問題解決は絶対にしていただかないでください。個人で問題に深く入り込むと活動に支障をきたすことがあります。また、民生委員・児童委員の先輩方には三百六十五日民生委員活動だとおっしゃる方もいらっしゃいますが、民生委員・児童委員の活動といえども、ボランティア活動と同様に決して民生委員・児童委員個人の生活を犠牲にするものではありません。民生委員・児童委員個人の生活リズムと要支援者とのリズムを調整して活動を行うことがこの活動を長続きさせる秘訣だと思っています。

民生委員・児童委員が地区住民と良好な関係を築くには、ある程度時間がかかりますので新しく就任された方々は肩の力を抜いて活動に当たってもらいたいと思います。



伊島地区民児協  
高原 時子

民生委員・児童委員の委嘱を受け、あつという間の二十二年でした。お年寄り、地域の為にお役に立てばと頑張つて参りました。幸いに町内会、各種団体の役員をしておりますので各町内会長さん、学校関係者と繋がりや交流があり、全ての面で恵まれていると思っております。

お一人暮らしの中には訪問を迷惑そうに言われていた方も今では「隣のアンテナが家の方へ落ちそうなのでどうにかしてもらえないかな」とか「いつも気に掛けてもらつて有難う。頼むからな」と言われる様になりました。新任の頃、一番困惑した事がありました。一人暮らしの男性が「熱が下がらないので浣腸をしてもらえないかな」と来られ、一瞬どうすればいいのか戸惑いながら伊島地区民生委員児童委員協議会の会長さんに相談した事です。

困った事、楽しかった事、落ち込んだ事、楽しかった事、落ち込んだ

だ事も沢山ありました。地域の方々や民生委員・児童委員仲間の助けがあったから今日までやっていくことができたと思っております。

今年にはコロナで行事を行えない中、恒例のひまわり配食サービスは実行できました。七十歳以上のお一人暮らしを対象に注文を受け、料理ボランティアによる「ちらし寿司」に四年生の児童の手紙を添えます。「待つとたんよ」「美味しいからな」「可愛い手紙が入っているし」と毎年喜んで頂きます。お年寄りから返事がきて、先生方も「子どもたちの励みになります」と喜んで下さいます。お年寄り子どもたちの橋渡しにもなれる事、嬉しく思っております。

また、北区北福祉区民生委員児童委員協議会の八地区の大勢の方々との交流もでき、数多くの勉強と経験をさせていただきましたこと深く感謝しております。これからも地域で助け合い支え合いながら活動して参りたいと思っております。



平井地区民児協  
那須 和夫

平成七年十二月より民生委員の委嘱を受けました。民生委員の活動や制度について何もわからず始めましたが、先輩の方々や地域の皆さんに支えられて今日に至っています。委嘱時は自宅で仕事をしていました。平成十一年より、北区に事務所を移したので、活動する際は帰宅しています。

平成二十四年から学区連合町内会長をさせていただいて、活動をする中で地域の各種団体と交流をしていくと、地域全体の活動は各種団体が協働して、地域課題を協議し解決をしていく場があれば、地域の繋がりが出来るのではと話し合い、平成二十七年四月に「平井学区地域づくり会議」を立ち上げました。会議の目的は「地域の情報・課題を収集、共有し課題解決策の検討と支援体制の仕組みづくり。行政・専門職とのネットワークを構築と連携・協働」とし、構成員は連合町内会役員、学

区内すべての団体、山陽学園大学・短期大学、中区地域包括支援センター、中区保健センター、中区社会福祉協議会、学校園PTAが参加しています。

課題は外部機関にアンケート（地域の心配事）を委託、結果①高齢者（認知症）②子供の居場所となり、認知症については「オレンジカフェ開催」「認知症サポーター養成講座」「健康チェック（認知症検査・体力測定等）」、子供の居場所づくりは県立成徳学校内の山林で「プレイパーク」の事業を実施して、安心して暮らせる街づくりを目指して、民生委員の皆さんと地域や行政と協働して「出来るときに出来ることを」一緒に参加・協力して民生委員活動をしていきたいと思っています。



幸島地区民児協  
齋藤 直樹

幸島地区は児島湾に面した自然あふれる田園地帯です。世帯は七百二十戸余りで、住民の高齢化と少子化が進んでいる地区です。児童

の見守りはもちろんのこと、高齢者に対する見守りや支援の必要性がますます高まっています。

前任者から民生委員・児童委員の役を引き受けて間もなく、新型コロナウイルスの騒動に巻き込まれました。幸島地区は独居老人を対象に安否確認も兼ねて十月から三月までふれあい給食を実施していましたが、コロナ騒動で三月の給食配布を中止しました。そのため、お宅を訪問して直接お顔を見ることができなくなり、電話等での安否確認へ方向転換を余儀なくされました。

そして、年度が替わった四月以降、コロナ感染防止対策として学校が休校となった影響で児童虐待が心配されたり、職場の時短勤務や収入源の影響で生活困窮が心配されたりしました。定例会で各委員が担当地区の情報交換をしましたが、コロナに関連した対応案件はありませんでした。

コロナ騒動の終息が見えない中、従来の活動で把握できていたことが、自粛などの行動制限で世帯の状況把握が難しくなっている現状があります。しかし、訪問活動を工夫し、

隣近所が顔なじみの地域特性を活かした情報収集をすることで、民児協の活動を停滞させることなく継続していきたいと思っています。



## 地域福祉推進部

部長（富山地区民児協）

本澤 美夜子

令和元年十二月の一斉改選に依り、新メンバーで地域福祉推進部がスタートしました。同時に旧女性部から、多様化する地域の福祉問題について、積極的に対応する人材を育成し共に学ぶ事を目的に、発展的に引き継がれた地域福祉推進部の記念すべき十周年を迎える年となる事で一層の活動強化を図る意気込みでした。歴代の泉部長、寶藏部長のご指導のもとで十年の間に、精神障害・認知症・高齢者・貧困・児童虐待問題のそれぞれの専門の先生方からの研修を受け、また、視察研修を行い、学んだ事を地域福祉推進部の活動に役立ててきました。

令和二年一月に地域福祉推進部会を開き、役員選出し、二月に常任委員会です事業計画を話し合い、令和二年度は、在宅介護・医療についての研修を決定していました。しかし、二月末に突然襲ってきたコロナ禍により、何もかもが自粛となってしまいました。

た。地域福祉推進部では、女性部から引き継ぎ、各区の民生委員・児童委員の協力を得て、旭川荘の奉仕作業を行っていましたが、現在は新型コロナウイルスの



感染拡大防止の観点から休止中。毎年六月二十九日には岡山市戦没者追悼式における参列者誘導等の補助参加（常任委員のみ）をしておりましたが、こちらも令和二年度は規模を縮小し、開催されたため、初めて参加することが出来ておりません。

とは言え、各地域では、自宅待機を余儀なくさせられている高齢者からは目を離せません。地域福祉推進部員は、多くの方々が、各地域で立ち上がっているサロン、カフェ等に中心の立場で関わっています。新型コロナウイルスの感染対策に万全な心配りをしながら活動しています。ごく近い将来には必ず地域福祉の推進に役立てられるよう研修、意見交換等で一層研鑽を積んで参りますのでよろしくお願いたします。

## 主任児童委員部

「現在の子どもたちを取り巻く環境を知る」

部長（幡多地区民児協）

守安 真理子

一期三年の一斉改選が行われ、主任児童委員も各福祉区に新しいメンバーが加わりました。今年はコロナ禍でさまざまな行事、研修が出来なくなりました。それでも各福祉区の代表が集まり、月一回の幹事会を開いています。先日は、児童虐待防止のオンラインフォーラムをイオンモール岡山おかやま未来ホールで行い、私たち主任児童委員部も手伝いに行きました。

例年ですと、子どもたちが遊べるダンボール迷路や、バルーンアートがあるので、今年は密を避けて里親制度の紹介や、グッズ販売、オンラインジリボンスタンプラリークイズなどをしました。

いつもであれば、家庭内の事が学校を通じて把握できていたのですが、今年はコロナで学校が長い間休校になり、子どもたちが家で過ごす

期間が長かったので情報の入手が難しく、主任児童委員も苦労しました。今年度のテーマである「現在の子どもたちを取り巻く環境を知る」ですが、数年前より主任児童委員が関わる家庭が増加したように思いますが、各福祉区の主任児童委員の方は、自分が出てくることを子ども達のために頑張つてやっていけるはずですが、主任児童委員だけでは解決できないこともあり、その時には民生委員の方、各種関係機関の方々と協力しながら子どもたちの為に解決していきたいと思えます。今後とも皆様のご協力をいただきながら活動していきたいと思えます。



## コロナ禍における 活動や工夫について

興除地区民児協

猪木 瑞代

世界中がコロナウイルスによるパンデミックで自粛の日々。私たちの活動も新しい生活様式に即した内容が求められています。この事態での活動について紹介します。

### 〈研修〉

○南区西福祉区合同研修会は延期後、中止

○地域福祉推進部会は施設への視察研修を全て断られました。しかし



岡山市子ども総合相談所が出前講座を引き受けてくれました。  
七月二日、感染症対策をとり研修会を実施。

「岡山市の児童虐待の現状と取組みについて」の講演後、活発に質疑応答が行われた確かな助言等を頂きました。推進部員全員参加の充実した研修会になりました。

### 〈ふれあい会食・配食〉

南区西福祉区では高齢者に接する事業として会食や配食があります。感染予防のため人との接触を減らす方法を工夫しました。

○会食を配食に変更

○配食内容を手作り弁当から菓子や保存食品の詰合せ、果物等の配布へ変更

高齢者には大変好評でした。

### 〈サロン活動の再開〉

― サロンハナミズキ(東睦)の事例 ―  
三月から活動を休止していましたが。六月に入り参加者から「閉じこもりが続ぎ鬱になりそう」「筋力低下を感じる」等の声が届くようになりました。関係者で協議し六月末に

予定していたサロンを再開することにしました。六月の計画は大声や息の上がる動きはなく映像を中心とした講話「岡山の自然」でした。

開催日には

次の予防対策をとりました。

○三密回避のため一室使用から間仕



切を開け、二室使用へ変更

○マスク、検温、消毒、換気の徹底

○時間短縮、お茶タイムの省略

様々な制約の中での開催でしたが参加者は喜んでくれました。その後七月―リサイクル教室、九月―手品、十月―落語、十一月―ミニコンサートと感染症対策に万全を期して活動してきました。

十一月現在の岡山県の感染者数は毎日増加しています。またウイルスが活発になる冬の到来も間近です。感染状況を見極めたうえで中止や再開を判断したいと考えています。



## わたしの趣味

### 邦楽(箏曲)



芳田地区民児協  
高橋 陽子

習い始めて四十数年、毎年、箏の会、ボランティア等の楽しみがコロナウイルス感染症の為すべて中止。早く日常に戻ればと願っています。

### ソーブカービング



平福地区民児協  
難波 上枝

ソーブカービングを習い始めて7年。カービングナイフを使って左右の手を同時に動かしながら石鹸を彫刻していきます。刃先に神経を集中させながら、うっとりする香りに包まれて癒しの世界へと導かれています。

◆委員より◆ 「わたしの趣味」を募集します。写真・絵・工芸・俳句・川柳など自薦他薦は問いません。事務局までご連絡ください。事務局(福祉援護課内) ☎086-803-1218

## 編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るい、暗く不安な日々を過ごさざるを得ない状況が続いています。

「民児協おかやま」No.四十八号をお届けいたします。行事や会議の開催が困難となり活動も思うようにならない中、ご寄稿をいただきました皆様には厚くお礼申し上げます。

今号は表紙に、岡山市出身の人見絹枝さんを紹介しました。日本人女性として初めて、アムステルダムオリンピックで銀メダルを獲得した人です。

今年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックの明るいニュースが、人々に元気と希望を与えてくれることを願っています。

広報委員一同、これからもより充実した誌面となるよう取り組んでまいります。ご支援ご協力の程よろしく願っています。

宗政 富美男 記